別記様式（第４条関係）

会　　議　　録

会議の名称	平成 28 年度第３回宍粟市地域包括支援センター運営協議会	
開催日時	平成 29 年３月 22 日（水）　13：30～15：00	
開催場所	宍粟市役所北庁舎 4 階　401 会議室	
議長（委員長・会長） 氏　　名	垣尾会長	
委員 氏　　名	（出席者） 舩曳委員、伊藤委員、千本委員、栗林委員、 高田委員、福原委員、森元委員、橋本委員、 堀田委員、高田委員、縣委員、 大路委員、河野委員、春名委員	（欠席者） 西川委員、上月委員
事務局 氏　　名	健康福祉部大島部長、志水次長、津村次長、波賀保健福祉課田中課長、 千種保健福祉課田村課長、介護支援課谷林課長、藤井副課長、 一宮保健福祉課前田副課長、坂口主任保健師、高田主任保健師 河本社会福祉士、岡崎社会福祉士、中川生活支援コーディネーター	
傍聴人数	０人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） ３．協議事項 （1）介護予防・日常生活支援総合事業の実施について （2）認知症施策について ４．情報提供 ○地域ケア個別会議と地域ケア推進会議について 地域ケア個別会議の実際 架空事例を用いてデモを行う	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞	

（会議の経過）

発言者	課題・発言内容
	１．開会 ２．あいさつ ３．協議事項 （1）介護予防・日常生活支援総合事業の実施について （パンフレット説明）
A 委員	実親が要支援認定を受けているので身近な話だが、本人はどこにも出たがらない。どこへ行くのも嫌がっている。
B 委員	夫の介護中は我が事として関心はあった。 今後自分のことでお世話になることがあると思うので、勉強していきたい。
C 委員	具体的にどこがどう変更したのか。
事務局	大きく変わったということはない。 サービスの種類が増えたと思ってほしい。 自分が元気でいるために介護予防に取り組んでいただき、そのための支援をしていく。
C 委員	外へ出たくないという人はたくさんいる。 自治会の集まりや、老人会の中へ出たくない人がたくさんいる。 なるべく外へ出て交流して、元気で過ごせるよう体操などに取り組んでほしいと感じている。 それには一人ひとりの意識改革がいる。
事務局	今後、通いの場のお世話役を支援してくれるサポーターを養成しようと考えている。
D 委員	総合事業は、介護保険制度の中の事業なのか。
事務局	介護保険制度の中の地域支援事業に位置づけられる。 財源も今までと同じ。
D 委員	チェックリストの評価基準は。
事務局	（国の判断基準を説明）

D 委員	サービス費用の利用者負担は。
事務局	今までと同様に、１割または２割相当額としている。 （2）認知症施策について（パンフレット説明） （認知症初期集中支援チームについて）
C 委員	認知症を早期に発見する事は難しいのではないか。
事務局	チーム員が自宅を訪問し、国の基準にそって判断していく。 確定診断が目的ではなく、生活のしづらさを感じている本人や家族にとって、今後どうすればいいのか、どう支援をしていくのかを一緒に考えていく。
E 委員	認知症の人をたくさん見つければよい、というものではない。 SOS を出せない人、何とかしたいがどうにもならない人を訪問して、地域の中から拾いあげ、今後の生活について考えていくことが大事。 ４．情報提供 〇地域ケア個別会議と地域ケア推進会議について 地域ケア個別会議の実際 架空事例を用いてデモを行う ５．閉会